

JS-CA4141

アナログHD対応
5メガピクセル
屋外ワンケーブル
IRドーム型カメラ



取扱説明書

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

説明書を読む前に

本説明書は、カメラの基本説明書です。本機をはじめてご使用になるユーザーの方はもちろん、以前に多くの類似装置を使用されてきたユーザーの方でも、ご使用前には必ず本説明書をよくお読みになって注意事項をご確認の上、本機をご使用になることをお勧めいたします。また、安全上の警告および注意事項は製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるため、必ずお守りください。お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管して下さい。



- 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、または説明書の使用方法に従わずに発生した製品の損傷は、当社で責任を負いかねますので、ご了承下さい。
- カメラをはじめてご使用になるか、使い方がよく分からないユーザーは、設置や使用中に必ず販売店までお問い合わせ頂き、専門のエンジニアのサポートを受けて下さい。
- システムの機能拡張および故障修繕のためにシステムを分解する場合は、必ず販売店までお問い合わせいただき専門家のサポートを受けなければなりません。
- 本機は業務用として電磁波適合した装置ですので、販売者またはユーザーの方はこの点にご注意ください。もし、誤って販売または購入した場合には、家庭用に交換してください。

安全上の注意事項の表示

アイコン	表記	意味
	警告	この事項を守らない場合、死亡したり重症を負う恐れがある内容です。
	注意	この事項を守らない場合、軽症を負ったり財産の損害が発生する恐れがある内容です。

本文での表記

アイコン	表記	意味
	注意	本機の機能や動作に関する内容で、必ず熟知しておかなければならない内容です。
	参考	本機を使用する上で役立つ内容です。

本製品は取扱説明書に従った正しい使い方をしてください。記載されている警告・注意事項を遵守しなかったり、不適当な使い方をすると、本製品の破損や故障、人への危害、財産の損害を招く可能性があります。これらにより発生した損害は、当社では責任を負いかねます。

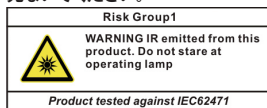
本文書の内容は、予告なく変更する場合があります。

安全上のご注意

製品を正しく使うことでユーザーの安全を確保し、財産上の損害などを事前に防止するための内容であるため、必ずお守りください。

- 製品運搬や設置する際に衝撃を与えないでください。
- 振動や衝撃がある場所に設置しないでください。故障の原因となります。
- 製品の動作中は、製品を動かしたり移動しないでください。
- お手入れをする場合、電源を切った後、必ず乾いた雑巾で拭き取ってください。
- 温度が高すぎる場所や低すぎる場所、湿度が多い場所には設置しないでください。また水や湿度などの防水対策が施されていない場所には置かないでください。火災の原因となります。
- 製品を水がある場所に置かないでください。また、花瓶のように水が入っているものを製品の上に置かないでください。火災、感電、けがの原因となります。
- 電源プラグ部分を引っ張ったり、濡れた手で触らないでください。電源ケーブルの上に重たい物を置かないでください。破損した電源ケーブルを使用した場合、火災・感電の原因となります。
- 予期せぬ停電による製品の損傷を防ぐため、UPS (Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置) の設置をお勧めします。詳細はUPS代理店へお問い合わせください。

- 本機の内部には、感電リスクのある部位があるため、ご自分でカバーを開けないでください。
- 壁や天井などに設置する際に安全かつしっかりと固定して適正温度を維持してください。空気の循環がない密閉された空間に設置した場合、火災の原因となります。
- 故障や感電の恐れがある温度変化が急激な場所や湿度が多い場所は避け、接地されていない電源拡張ケーブル、被覆が剥がれた電源ケーブルを使用しないでください。
- 雷、稲妻が頻繁な地域では、落雷保護機の使用をお勧めします。
- 本機から変な匂いや煙が出る場合、すぐに電源スイッチを遮断して販売店にお問い合わせください。
- 湿度に注意してください。本機の設置は、湿度の低いときに行ってください。降雨時や湿度の高いときに設置を行うと、内部に湿度がたまりレンズが曇ることがあります。
- 警告:本製品から赤外線が放出されます。IR LEDを見ないでください。



1	第1章—製品紹介	6
	製品の特徴	6
	付属品の確認	7
	各部分の名称および機能	8
	ドームカバー	8
	入力/出力デバイスポート	8
	設置	9
	ドームカバーを外す	9
	設置する	9
	角度調節	10
	ドームカバーを閉じる	11
2	第2章—カメラ接続	12
3	第3章—メニュー設定	13
	レンズ	13
	フォーカス	14
	露光制御	14
	ホワイトバランス	15
	逆光補正	16
	デイ&ナイト	18
	デジタルノイズ除去	19
	イメージ	19
	モーション	21
	システム	22
	終了	23
4	第4章—付録	24
	トラブルシューティング (Q&A)	24
	製品の仕様	25

第1章－製品紹介

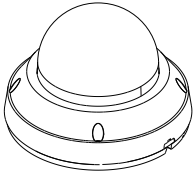
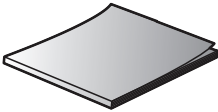
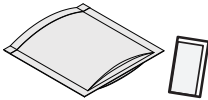

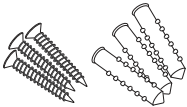
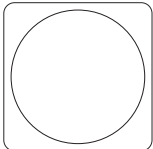

製品の特徴

このカメラは、同軸ケーブル(coaxial)で映像を伝送するアナログHDカメラです。

- PoC(Power over Coaxial)対応
- 5MP(4:3)、4MP(16:9)アナログHD映像出力対応
- スマートIR機能対応
- 曇り除去機能対応
- 広域補正機能(True WDR)対応でコントラストがある環境での映像補正改善
- Sense-Up機能対応で最低被写体照度性能改善
- 内蔵IRカットフィルターチェンジャーでデイ&ナイト機能対応
- 自動フォーカス調整機能対応
- イベント検知機能:モーション検知
- モーター可変フォーカス自動絞りレンズを含む
- 防水および防塵のためのIP67、IK10等級

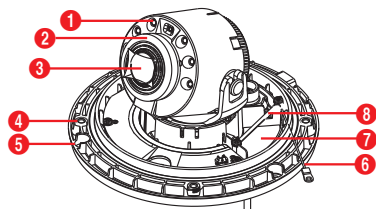
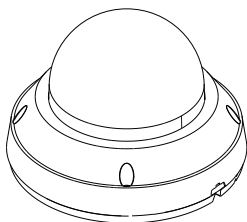
付属品の確認

製品を購入したら梱包を開け、下記の付属品がすべて含まれているか確認してください。

		
<p>カメラ本体</p>	<p>取扱説明書</p>	<p>防湿剤、両面テープ各1</p>
		
<p>トルクスレンチ</p>	<p>固定ねじ・アンカープラグ 各3本</p>	<p>設置シート</p>
		
<p>保証書</p>		<p>保証書</p>

各部分の名称および機能

ドームカバー



①	IR LED
②	レンズブッシング
③	レンズ
④	ドームカバーの結合部分
⑤	壁/天井設置穴
⑥	安全フック
⑦	防湿剤挿入位置
⑧	クランプ (Clamp)

・ IR LED

IR LEDの中央にあるセンサーが照度を検知してナイトまたは低照度環境でIR LEDがオンになります。

・ レンズブッシング

LED赤外線を遮断します。

・ レンズ

モーター可変フォーカスレンズが装着されています。

・ ドームカバーの結合部分

ドームカバーが下部カバーに回転しながら結合します。

・ 壁/天井設置穴

カメラを壁や天井に設置するためのネジを接続します。

・ 安全フック

ドームカバーが落下することを防ぎます。

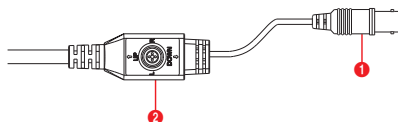
・ 防湿剤挿入位置

この位置に防湿剤を挿入します。

・ クランプ (Clamp)

防湿剤が落下しないように固定します。

入力/出力デバイスポート



①	BNCビデオ(VP)出力(黒色ケーブル)
②	OSDボタン

・ BNCビデオ出力

PoCの電源ユニットに接続します。

- CVBS出力は簡易的信号のため、正確なPAL/NTSC信号規格対応していません。設置時のプレビュー用途等だけにご利用ください。

・ OSDボタン

OSDメニューを設定する時に使用します。

- 同軸ケーブルの規格は、下記の通りです。
< 同軸ケーブルの規格 >

コネクター	ケーブル	最大長	備考
BNC	3C-2V	200m	TVI 5MP20/12.5
	5C-2V	400m	TVI 4MP30
	3C-2V	300m	TVI 2MP30 AHD 2MP30
	5C-2V	500m	AHD 5MP20/12.5 AHD 4MP30

- 映像出力方式に切り替える場合、OSDボタンで映像モードを変更することができます。

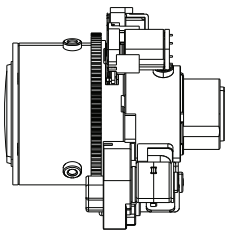
- ・ **AHD**に切り替える場合:OSDボタンの**RIGHT**キーを3回押した後、中央にあるボタンを押します。
- ・ **TVI**に切り替える場合:OSDボタンの**LEFT**キーを3回押した後、中央にあるボタンを押します。
- ・ **CVBS**に切り替える場合:OSDボタンの**UP**キーを3回押した後、中央にあるボタンを押します。

✓ OSDボタンを用いてMFZレンズを操作することができます。

- **UP**キー:Zoom IN
- **DOWN**キー:Zoom OUT
- **LEFT**キー:Focus NEAR
- **RIGHT**キー:Focus FAR

■ レンズ

モーター可変フォーカスレンズ



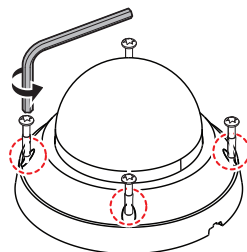
✓ レンズに衝撃が与えられるとレンズの誤作動が発生することがありますので、設置および取り扱いにご注意ください。

■ 設置

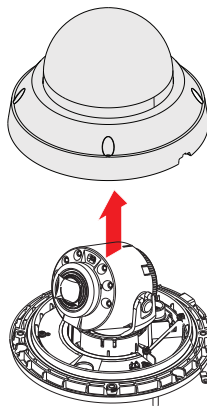
本製品を設置する際には、特別な工具は必要ありません。全システムを構成する他の装備に関しては、各デバイスの**設置説明書**をご参照ください。

■ ドームカバーを外す

- 1 まず付属品として提供されたトルクスレンチでネジを反時計回りに回します。



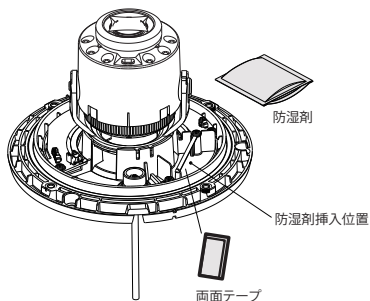
- 2 ドームカバーを外します。



■ 設置する

- ⚠ 壁または天井の補強工事が必要なのか確認してください。壁または天井がカメラを支えられる程強くない場合、カメラが落下することがあります。
- カメラを直射日光の当たる場所に設置した場合、製品に悪影響を与えるので涼しい場所に設置してください。

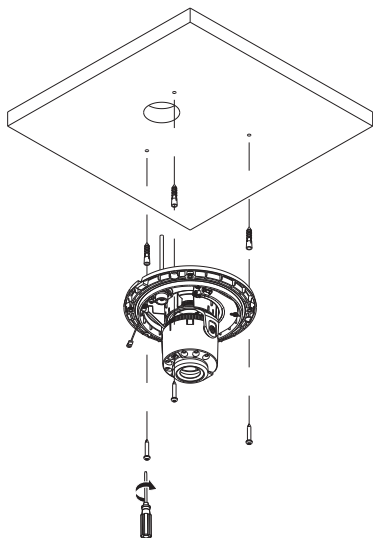
- 1 湿気を防止するために防湿剤を提供しています。防湿剤を付属品の両面テープで指定された空間に貼り付けてください。



- ☑ 防湿剤が落ちないようにクランプ (Clamp) でしっかりと固定します。

- 2 カメラと共に提供される設置用のアンカーやネジを用いて本体を壁または天井に固定します。

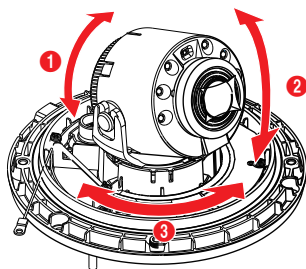
- ☑ カメラと共に提供されるガイドパターンを利用してネジの間隔を確認することができます。



- 3 外部装置および電源アダプタを接続します。
- 4 画像を見て適切な角度に合わせます。詳しい内容は**角度調整**をお読みください。

角度調節

レンズの3軸回転に対応します。

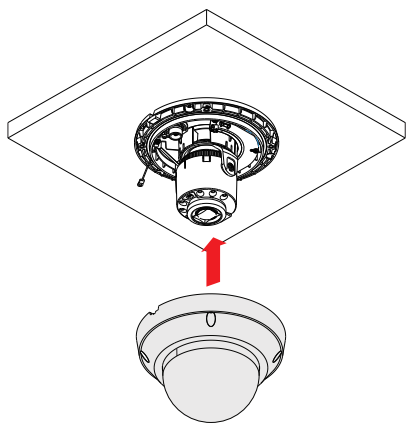


①	レンズ回転
②	垂直(チルト)回転
③	水平(パン)回転

- **レンズ回転**
レンズの回転角度を調整します。回転台を時計回りや反時計回りに回します。
- **垂直(チルト)回転**
レンズを上下に動かしてレンズの傾斜角度を調節します。
- **水平(パン)回転**
レンズの水平角度を調整します。水平回転台を時計回りや反時計回りに回します。

■ ドームカバーを閉じる

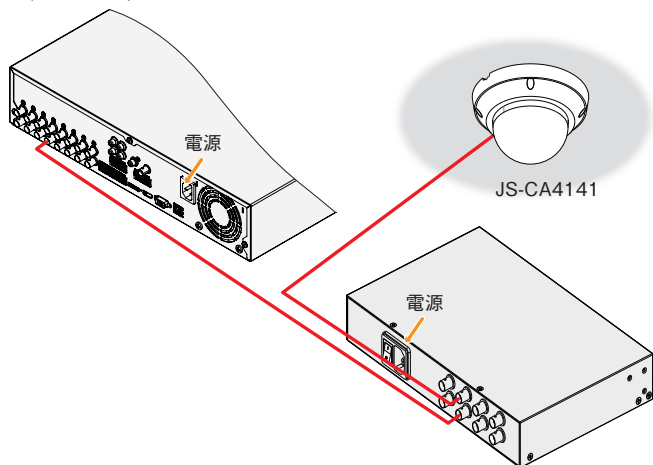
付属品として提供されたトルクスレンチを用いてドームカバー用のネジを時計回りに回してドームカバーを固定させます。



- ドームカバーの内側・外側の保護シートを外してください。

第2章ーカメラ接続

アナログHD レコーダ



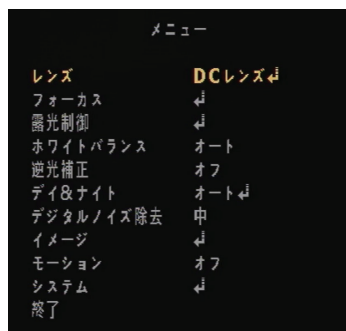
アナログHDカメラ専用PoC電源ユニット

アナログHDレコーダおよびアナログHDカメラ専用PoC電源ユニットの
信号接続箇所や操作方法は、各製品のマニュアルを参照願います。

第3章—メニュー設定

メニュー設定は、本製品に含まれているOSDボタンを使用して変更します。

- 1 OSDボタンを押すと、モニターにメニューが表示されます。

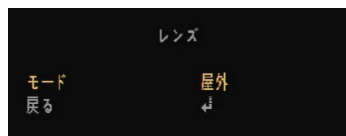
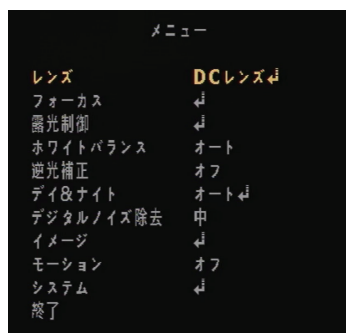


- 2 UPやDOWNボタンで上、下に移動できます。選択された項目は黄色で表示されます。選択するには、OSDボタンを押します。
- 3 LやRボタンを押すと、選択できるオプションが表示されます。お望みの値が表示されるまでLやRボタンを押した後、適用するにはOSDボタンを押してください。↕がある項目はOSDボタンを押して下位メニューに移動できます。
- 4 メニューを終了するには**終了**を選択した後、OSDボタンを押します。

☑ 濃いグレーの項目は、メニュー設定状態によって無効な項目です。

レンズ

- 1 メニュー設定画面が表示されると、UPやDOWNボタンで**レンズ**項目が黄色に表示されるように操作します。
- 2 OSDボタンを押して**DC レンズ**または**マニュアルレンズ**を選択します。

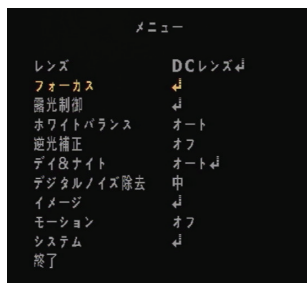


- **DC レンズ**:モードで設置環境によって**屋内**、**屋外**、**ぼやけ補正**を選択できます。
- **マニュアルレンズ**:モードで設置環境によって**通常**、**ぼやけ補正**を選択できます。

☑ WDR機能をONにした場合は、レンズの露光制御は働かず、機能設定もできません。

フォーカス

- 1 メニュー設定画面が表示されると、UPやDOWNボタンで**フォーカス**項目が黄色に表示されるように操作します。
- 2 OSDボタンを押して**フォーカス**の下位メニューに移動します。

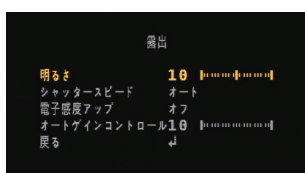
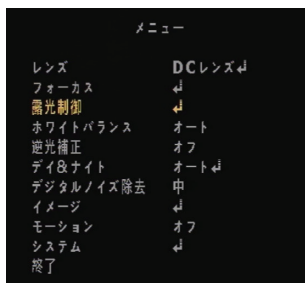


- **ワンタッチAF**:OSDボタンを3秒間押すと、**PUSHING**メッセージが表示され映像の焦点を合わせます。
- **初期化**:OSDボタンを3秒間押すと、**PUSHING**メッセージが表示され×1に移動した後、現在の映像に対する焦点を合わせます。

ズーム動作後、フォーカスが動作します。

露光制御

- 1 メニュー設定画面が表示されると、UPやDOWNボタンで**露光制御**が黄色に表示されるように操作します。
- 2 OSDボタンを押して**露光制御**の下位メニューに移動します。



- **明るさ**:明るさを調整できます。(0~20)
- **シャッター**:**オート**、**マニュアル**、**フリッカ補正**の中から一つを選択してシャッタースピードを調整します。

• **マニュアル**モードは、シャッタースピードを1/30~1/30,000に調整できます。

• **マニュアル**、**フリッカ補正**に設定した場合、逆光補正メニューの**WDR**は動作しません。

• **電子感度アップ**:夜間や暗い照明環境で自動的に暗いレベルを検知して明るい画面を表示します。(オフ×32)

• **マニュアル**シャッターを有効にした場合、**電子感度アップ**は動作しません。

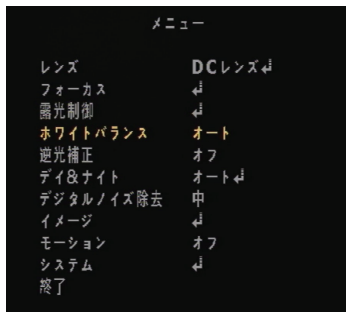
• 逆光補正メニューの**WDR**を有効にした場合、**電子感度アップ**は動作しません。

• **オートゲインコントロール**:ゲイン単位が高いほど画面は明るくなりますが、画面のノイズも多くなります。(0~10)

ホワイトバランス

画面のカラー調整が必要な場合、ホワイトバランスを使用することができます。

- 1 メニュー設定画面が表示されると、**UP**や**DOWN**ボタンで**ホワイトバランス**項目が黄色に表示されるように操作します。
- 2 **L**や**R**ボタンを押して使用するモードを選択し、**OSD**ボタンを押します。



- **オート**: 周りの環境によってホワイトバランスを自動的に調整する機能です。
- **オート2**: オートモードより広い範囲の色温度で周りの環境に合うホワイトバランスに自動的に調整する機能です。
- **AWC(セット)**: 現在の照明環境で最も良い状態を探すため、カメラに白い紙を映してから3秒間**OSD**ボタンを押します。**PUSHING**メッセージが表示され設定が完了します。環境が変わると、再調整が必要です。

- **マニュアル**: 色温度で適する色温度を決めた後、画面に表示される被写体の色変化を確認しながら、それぞれの青レベルと赤レベルを調整します。



- **色温度**: 色温度を設定することができます。(3000K/5000K/8000K)
- **赤レベル**: 0~20に適用することができます。
- **青レベル**: 0~20に適用することができます。



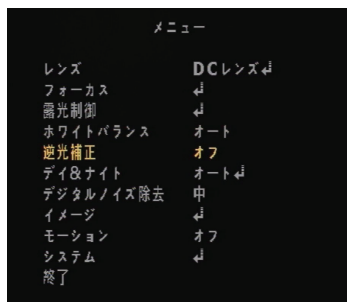
下記の条件では**ホワイトバランス**が正常に動作しない場合があります。この場合、**オート2**モードを選択してください。

- 被写体の周りの環境がとても高い色温度の場合 (例: 青天、夕暮れ)
- 被写体の周りの環境が暗い場合
- カメラが蛍光灯の方を直接向いていたり照明の変化が激しい場所に設置した場合

逆光補正

逆光環境でHLC、BLC、ACE、WDRの中から選択して使用できます。

- 1 メニュー設定画面が表示されると、UPやDOWNボタンで逆光補正項目が黄色に表示されるように操作します。
- 2 LやRボタンを押して使用するモードを選択し、OSDボタンを押します。

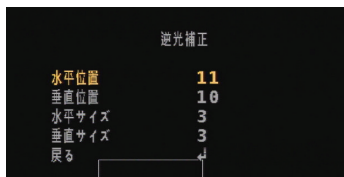


- ・ **オフ**:機能を停止します。
- ・ **ハイライト補正**:暗い駐車場の入口や夜間のガソリンスタンドの入口で車のヘッドライトに強く照らされたとき、直接エリアを設定してヘッドライトだけを遮断して車のナンバープレートを識別することができます。



- **レベル**:光による飽和エリアの範囲を調整します。
- **カラー**:飽和エリアに表示されるカラーを選択します。(BLK/WHT/YEL/CYN/GRN/MAG/RED/BLU)

- ・ **バックライト補正**:被写体が激しい逆光環境にいても従来のカメラの逆光補正機能とは異なり、被写体の背景をはっきり確認することができます。カメラが設置された環境に合わせてユーザーが直接希望するエリアを設定して設定されたエリアをはっきり確認することができます。



- **水平位置**:BLCエリアの水平位置を調整します。(0~26)
- **垂直位置**:BLCエリアの垂直位置を調整します。(0~32)
- **水平サイズ**:BLCエリアの水平サイズを調整します。(0~26)
- **垂直サイズ**:BLCエリアの垂直サイズを調整します。(0~32)

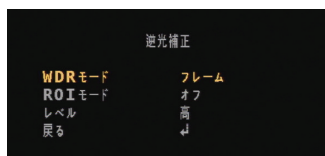
- エリア調整最大値は、解像度によって変更される場合があります。

ACE:強い逆光にもコントラストを調整することができます。(オフ/低/中/高)



- ACE**はイメージメニューの**曇り除去**を有効にした場合、動作しません。

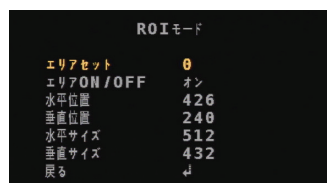
- ・ **WDR:**逆光によって物などが見分けられず、暗く表示される状況で生き生きとした鮮明な画質で表示されます。



- **WDRモード:**WDRの動作方式を選択します。(フレーム/ライン)
- **ROIモード:**選択エリアに対して明るさを下げ物などを見分けられるようにする機能です。エリアはBOX(四角形)やPOLYGON(多角形)で設定できます。

BOX

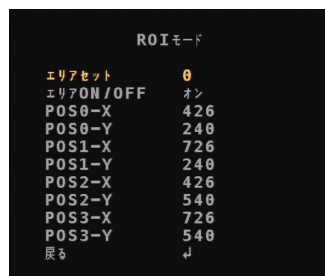
選択エリアをボックスの形で設定します。



- **エリアセット:**適用するボックスを選択します。(0~3)
- **エリアON/OFF:**ボックス状態をオン/オフで設定できます。
- **水平位置:**水平開始位置を調整します。(0~2608)
- **垂直位置:**垂直開始位置を調整します。(0~1960)
- **水平サイズ:**エリアの幅を調整します。(0~2608)
- **垂直サイズ:**エリアの高さを調整します。(0~1960)

POLYGON

選択エリアを多角形で設定します。四つの頂点位置を調整して範囲を選択することができます。



- **エリアセット:**適用するエリアを選択します。(0~3)
- **エリアON/OFF:**エリア状態をオン/オフで設定できます。
- **POS0-X:**左上の頂点X座標を調整します。(0~2603)
- **POS0-Y:**左上の頂点Y座標を調整します。(0~1955)
- **POS1-X:**右上の頂点X座標を調整します。(5~2603)
- **POS1-Y:**右上の頂点Y座標を調整します。(0~1955)
- **POS2-X:**左下の頂点X座標を調整します。(0~2603)
- **POS2-Y:**左下の頂点Y座標を調整します。(5~1960)
- **POS3-X:**右下の頂点X座標を調整します。(5~2608)
- **POS3-Y:**右下の頂点Y座標を調整します。(5~1960)

エリア調整最大値は、解像度によって変更される場合があります。

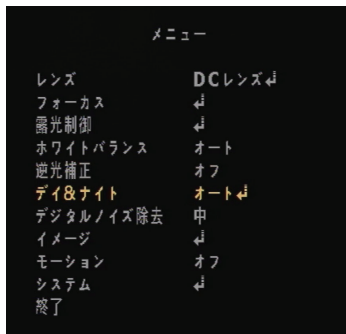
- **レベル:**レベルを設定します。レベルが高くなるほど、光の飽和を抑えて画面が暗くなります。(低/中/高)

エリア調整最大値は、解像度によって変更される場合があります。

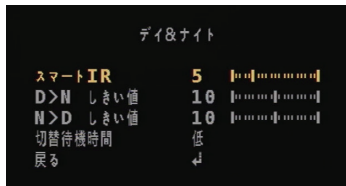
デイ&ナイト

デイ&ナイトで画面をカラーおよびモノクロに設定できます。

- 1 メニュー設定画面が表示されると、UPやDOWNボタンで**デイ&ナイト**項目が黄色に表示されるように操作します。
- 2 LやRボタンを押して使用するモードを選択し、OSDボタンを押します。

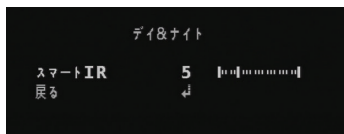


- ・ **オート**:照度センサーでカラーやモノクロを自動的に切り替えます。



- **スマートIR**:光(赤外線)の飽和防止のために使用します。(0~20)
- **D>Nしきい値**:カラーからモノクロに変わる時の基準値を設定します。(0~20)
- **N>Dしきい値**:モノクロからカラーに変わる時の基準値を設定します。(0~20)
- **切替待ち時間**:カラーやモノクロに切り替える際の遅延時間を設定します。(低/中/高)

- ・ **カラー**:映像出力を常時カラーにします。
- ・ **モノクロ**:映像出力を常時モノクロにします。



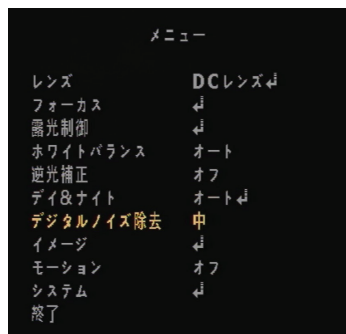
- **スマートIR**:光(赤外線)の飽和防止のために使用します。(0~20)

- ✓ **スマートIR**は、逆光補正メニューの**WDR**を有効にした場合、動作しません。

デジタルノイズ除去

低照度から発生するノイズを除去もしくは減少させる機能です。3DNR機能が適用され、ノイズ減少効果に優れています。しかし、補正比率を上げるほどノイズ除去効果は良くなりますが、画面に残像が発生することがあります。

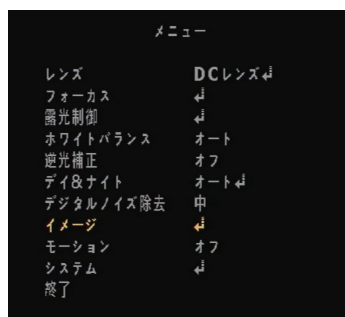
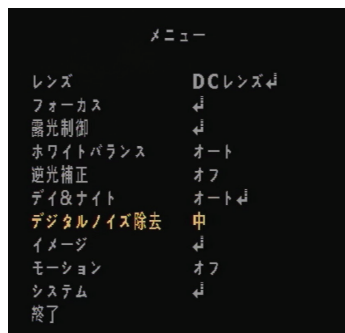
- 1 メニュー設定画面が表示されると、**UP**や**DOWN**ボタンで**デジタルノイズ除去**項目が黄色に表示されるように操作します。
- 2 **L**や**R**ボタンを押して使用するモードを選択し、**OSD**ボタンを押します。(オフ/低/中/高)



イメージ

カメラの映像関連機能を調整する際に使用します。

- 1 メニュー設定画面が表示されると、**UP**や**DOWN**ボタンで**イメージ**項目が黄色に表示されるように操作します。
- 2 **OSD**ボタンを押して**イメージ**の下位メニューに移動します。

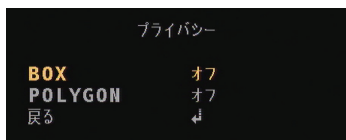


- **シャープネス**:シャープネスレベルが高いほど、映像のシャープが強く鮮明になります。映像によって適する値に調整します。(0~5)
 - **ガンマ**:ガンマ値を調整します。(0.45~0.75)
- ガンマ**は逆光補正メニューのWDRを有効にした場合、動作しません。
- **色の濃さ**:色の濃さを調整します。(0~20)

- ・ **ミラー**:モニター画面の画像が左右反転します。
- ・ **フリップ**:モニター画面の画像が上下反転します。
- ・ **デジタルズーム**:1.0x~16.0x倍率のデジタルズームを使用することができます。デジタルズーム倍率が高くなるほど、解像度は低くなります。
- ・ **曇り除去**:曇り、黄砂、湿気などによって映像が不鮮明な場合、映像を歪み補正して鮮明な画面で表示します。**オン**を選択して下位メニューに移動した後、**モード**(オート/マニュアル)や**レベル**(低/中/高)を設定します。

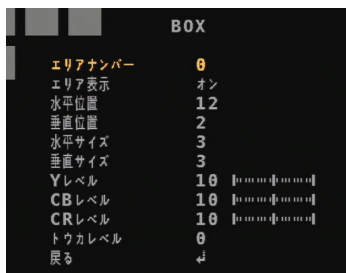
曇り除去は逆光補正メニューの**WDR**を有効にした場合、動作しません。

- ・ **シェーディング**:レンズがとても広い角度で設定されている場合、コントラスト効果が作用します。**オン**を選択して下位メニューに移動した後、**レベル**を調整します。(0~100%) 中心や端に効果が表示されます。
- ・ **プライバシー**:画面上で隠したいエリアを設定する時に使用します。エリアは**BOX**(四角形)や**POLYGON**(多角形)で設定できます。



BOX

選択エリアをボックスの形で設定します。



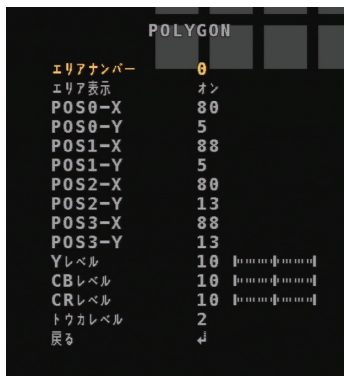
- **エリアナンバー**:適用するボックスを選択します。(0~15)
- **エリア表示**:ボックス状態を**オン/オフ**で設定できます。
- **水平位置**:水平開始位置を調整します。(0~81)
- **垂直位置**:垂直開始位置を調整します。(0~61)
- **水平サイズ**:エリアの幅を調整します。(0~81)

- **垂直サイズ**:エリアの高さを調整します。(0~61)
- **Yレベル**:ボックスのカラー明るさを調整します。(0~20)
- **CBレベル**:ボックスの青レベルを調整します。(0~20)
- **CRレベル**:ボックスの赤レベルを調整します。(0~20)
- **トウカレベル**:ボックスの透明度を調整します。(0~3)

エリア調整最大値は、解像度によって変更される場合があります。

POLYGON

選択エリアを多角形で設定します。四つの頂点位置を調整して範囲を選択することができます。



- **エリアナンバー**:適用するエリアを選択します。(0~7)
- **エリア表示**:エリア状態を**オン/オフ**で設定できます。
- **POS0-X**:左上の頂点X座標を調整します。(0~162)
- **POS0-Y**:左上の頂点Y座標を調整します。(0~122)
- **POS1-X**:右上の頂点X座標を調整します。(0~162)
- **POS1-Y**:右上の頂点Y座標を調整します。(0~122)
- **POS2-X**:左下の頂点X座標を調整します。(0~162)
- **POS2-Y**:左下の頂点Y座標を調整します。(0~122)
- **POS3-X**:右下の頂点X座標を調整します。(0~162)

- **POS3-Y**:右下の頂点Y座標を調整します。
(0~122)
- **Y レベル**:エリアのカラー明るさを調整します。
(0~20)
- **CB レベル**:エリアの青レベルを調整します。
(0~20)
- **CR レベル**:エリアの赤レベルを調整します。
(0~20)
- **トウカレベル**:エリアの透明度を調整します。
(0~3)



エリア調整最大値は、解像度によって変更される場合があります。

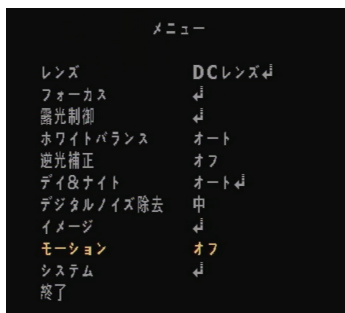
モーション

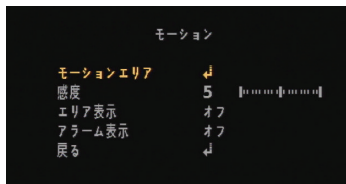
映像でモーションを検知します。

- 1 メニュー設定画面が表示されると、**UP**や**DOWN**ボタンで**モーション**項目が黄色に表示されるように操作します。
- 2 **L**や**R**ボタンを押して**オン**を選択し、下位メニューに移動してから詳細を設定します。

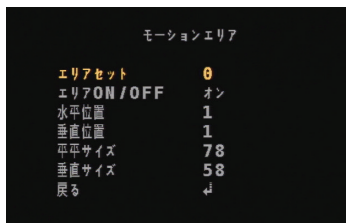


モーションエリアの設定 (**モーションエリア**) 前に、**モーション**下位メニューの**エリア表示**で**オン**を選択します。**オフ**を選択した場合、モーションエリアが画面に表示されません。





- モーションエリア:モーションを検知するエリアを設定する時に使用します。



- エリアセット:適用するエリアウィンドウを選択します。(0~3)
- エリアON/OFF:エリアウィンドウの状態をオン/オフで設定できます。
- 水平位置:エリアの開始点を左右に調整します。(0~81)
- 垂直位置:エリアの開始点を上下に調整します。(0~60)
- 水平サイズ:エリアの左右サイズを調整します。(0~81)
- 垂直サイズ:エリアの上下サイズを調整します。(0~60)

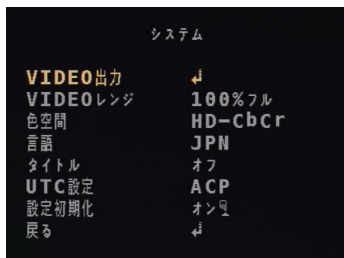
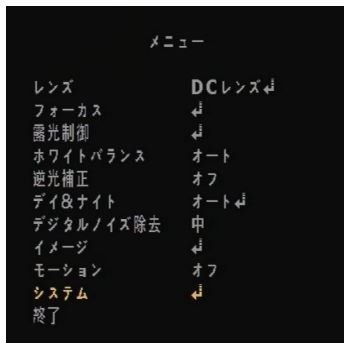
エリア調整最大値は、解像度によって変更される場合があります。

- 感度:高く設定するほど、より高い感度になりますが、画質が低下します。(0~10)
- エリア表示:モーションエリアを画面に表示します。(オン/オフ)
- アラーム表示:モーションを検知した時、映像にテキストでモーションを表示します。(オフ/オン)

システム

追加機能を選択する場合に使用します。

- メニュー設定画面が表示される、UPやDOWNボタンでシステム項目が黄色に表示されるように操作します。
- OSDボタンを押してシステムの下位メニューに移動します。



- **VIDEO出力:**映像出力に関する設定を変更することができます。



- **フレームレート:**解像度と同期されたフレームを選択することができます。(2MP 30FPS/5MP 12.5FPS/5MP 20FPS/4MP 30FPS)
- **FREQ:**NTSC (60HZ) 方式に設定されています。
- **出力モード:**アナログ出力方式を変更することができます。(AHD/TVI)

設定メニューから**CVBS**は選択できません。

- **CONFIRM:**OSDボタンを3秒間押しと、**PUSHING**メッセージが表示され**OUTPUT**設定を適用します。
- **VIDEORENジ:**映像で光の明るさやカラー表現を調整する機能です。**100%フル**、**75%調整**、**カスタム**の中から選択して適用することができます。
(**100%フル=100%/ 75%調整=75%**) **カスタム**項目を選択した場合、**オフセット**でユーザーが任意指定できます。数字が大きくなるほど、映像が明るくなりカラーは薄くなります。(0~32)
- **色空間:**画面の色彩感を設定できます。(YUV/SD-CbCr/HD-CbCr)
- **言語:**英語、中国語、日本語、韓国語の中から選択できます。(ENG/CHN/CHN[S]/JPN/KOR)

- **タイトル:**映像にカメラ名を特定位置に表示することができます。(オフ/右上/左下)位置を選択してOSDボタンを押してから、カメラ名を設定します。



- **U,D - CHAR SELECT:**UPやDOWNボタンで文字を選択できます。
- **L,R - POSITION:**LやRボタンで特定文字列の位置に移動することができます。
- **ENTER:**設定が完了したら、OSDボタンを押します。
- **設定初期化:**出荷条件初期化するには、3秒間OSDボタンを押してください。

終了

現在の設定を保存して設定メニューを終了するには、終了ボタンを押します。

第4章 付録

トラブルシューティング(Q&A)

症状	確認事項
本体に電源が入りません。	<ul style="list-style-type: none">・ 同軸ケーブルの接続状況を確認します。・ PoC電源装置の状態を確認します。
モニタリング映像が表示されません。	<ul style="list-style-type: none">・ カメラの電源を確認します。・ DVR装置との接続状態を確認します。・ PoC電源装置との接続状況を確認します。
映像が不鮮明です。	<ul style="list-style-type: none">・ レンズにホコリが付着しているかを確認した後、きれいな布やブラシで拭き取ります。・ 焦点が合っているか確認します。レンズの焦点が合わない場合、昼間に焦点を調整します。・ 画面に明るい光が当たりすぎる場合、カメラの位置や角度を適切に調整します。
映像のカラー表現が違います。	カメラを設定する際にホワイトバランス設定を確認します。オートに設定された場合、ホワイトバランスを調整するのに若干の時間を要します。
映像が点滅します。	カメラが太陽や蛍光灯と向き合うように設置されている場合、カメラの方向を調整します。

製品の仕様



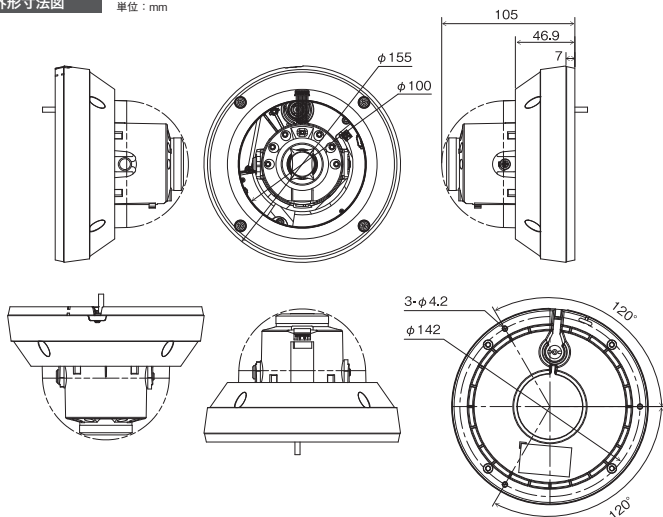
本製品の仕様は、製品の改良のため、事前予告なしに変更されることがあります。

仕様

イメージセンサ	1/2.8インチ 5MP CMOS センサ
画像解像度	最大 2592×1944
走査方式	プログレッシブスキャン
レンズ	f=3.0-13.5mm (モータライズドバリアフォーカル)、F1.4~3.2、DC オートアイリスレンズ
画角	水平: 約31~91度 垂直: 約23~66度 対角: 約38~120度
最低被写体照度	カラー: 0.13 lx @F1.4、白黒: 0 lx (赤外線 LED 点灯時)
ダイナミックレンジ	120dB (True WDR)
電子シャッター	自動 / 手動 (1/30、1/25 ~ 1/30,000)、フリッカレス
デイ/ナイト機能	IR カットフィルタ (自動スイッチ)
赤外線照射距離	最大 約30m
機能	オートゲインコントロール、ホワイトバランス (AUTO、AWC セット、マニュアル)、シャープネス、DNR、逆光補正 (ハイライト補正、バックライト補正、WDR)、電子感度アップ、霧補正、プライバシーマスキング、動体検知
映像出力	BNC ×1 (AHD、TVI)
オーディオ入出力	—
内蔵マイク	—
アラーム入出力	—
外形寸法 / 質量	約155 (径) ×105 (高) mm / 約840g
使用温度範囲	-10°C ~ +55°C (湿度: ~90% ※結露しないこと)
電源 / 消費電力	専用電源ユニット (PF-EB038-039) / 最大約7.6W
IP等級 / IK等級	IP67 / IK10
同梱物	カメラ本体 ×1、防湿剤・両面テープ ×1、トルクスレンチ ×1、固定用ねじ・アンカープラグ ×各3、設置シート ×1、取扱説明書 ×1、保証書 ×1

外形寸法図

単位: mm



ケーブル長さ: 600±10%

アフターサービスについて

この製品は「保証書」を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証について

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

●本製品が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

■ 定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検の実施をおすすめします。詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

■ 万一故障が発生した場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。

本製品は当社保証規定に基づいて保証させていただいております。

修理を依頼されるときは

下記事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ② 品名と品番（アナログHD対応5メガピクセル 屋外ワンケーブルIRドーム型カメラ【JS-CA4141】）
- ③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
- ④ 製造番号（保証書に記入）
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

www.js-sys.com/

株式会社 日本防犯システム

〒105-5111 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービルディング南館 11階
本製品の仕様は製品の質を高めるために事前の予告なく変更される場合があります。

ご購入元メモ欄